

# プール熱

三大夏風邪の一つ

(ヘルパンギーナ、手足口病、プール熱)

# プール熱の原因は？

プール熱は「夏風邪」の代表疾患であり、咽頭結膜炎ともいわれます。

アデノウイルス感染による引き起こされます。

感染力がとても強く、簡単に周囲にひろがります。

主に5歳未満の幼児がかかります。

また別の種類のアデノウイルスにより繰り返しプール熱にかかることがあります。

# 感染経路

感染経路は飛沫感染と接触、経口感染です。

## ①飛沫感染

ウイルスは咳やくしゃみと一緒に飛び出します。

## ②接触感染

アデノウイルスは水を介して感染しやすく、夏のプールで広がりやすいためプール熱といわれます。プール以外では唾液や鼻水、目やに、便もウイルスが含まれるためそれらに触れることで感染します。症状がなくなったあとも喉から1～2週間、便からは1ヶ月程度ウイルスが排泄されます。

# 症状

- 発熱

38度以上の高熱が3～7日程度続く

- 咽頭痛

喉の痛み、扁桃に白色の浸出液が付着

- 結膜炎

充血、眼の痛み、かゆみ、目やになど

- その他

腹痛、下痢、頭痛、咳、食欲低下など

# 治療

特異的な治療法はありません。

高熱に対しては解熱剤、喉の痛みには抗炎症剤、眼には目薬などを使用します。

口腔内の水疱が痛むことがあるため刺激にならない柔らかめで薄めの食べ物の摂取、水分摂取を行います。

# 脱水症を思わせる症状

- おしっこの量や回数が減る
  - 唇や口の中が乾く
  - 皮膚の張りがなくなる
  - 泣いても涙が出ない
  - 元気がなく、ぐったりとしている
- などです。

悩む場合には受診をしましょう。








# 予防

予防のためにはとにかく感染経路を絶つことが必要です。

- 感染者との接触を避ける
- 手指消毒
- タオルの共有はしない
- 洗濯物をわけて洗う
- エタノールや次亜塩素酸ナトリウムでよく触れるところの消毒を行う。

# 登園・登校の目安

- 学校保健安全法施行規則では流行性の高い第二種に分類されています。
- 主要症状が消退したあと2日が経過するまでは登園、登校ができません。

	発症日						
	0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目
発症 2日目に解熱	発熱 	発熱 	発熱 	解熱 	解熱 	解熱 	解熱 
	登園禁止	登園禁止	登園禁止	解熱0日 登園禁止	解熱1日 登園禁止	解熱2日 登園禁止	登園可